

平成30年7月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の平成30年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.76倍となり、前月より0.02ポイントの上昇となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.92倍となり、前月より0.08ポイントの上昇となった。

(求人・求職の動き)

- 7月の新規求人数(季節調整値)は前月比4.3%増となり、有効求人数(同)は前月比0.3%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比1.3%増となり、有効求職者数(同)は前月比1.1%減となった。
- 7月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると9.7%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比18.6%増)、製造業(同6.6%増)、情報通信業(同4.4%増)、運輸業、郵便業(同6.1%増)、卸売業、小売業(同7.6%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同12.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同3.4%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同14.9%増)、教育、学習支援業(同12.3%増)、医療、福祉(同18.6%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同13.7%増)となった。

